

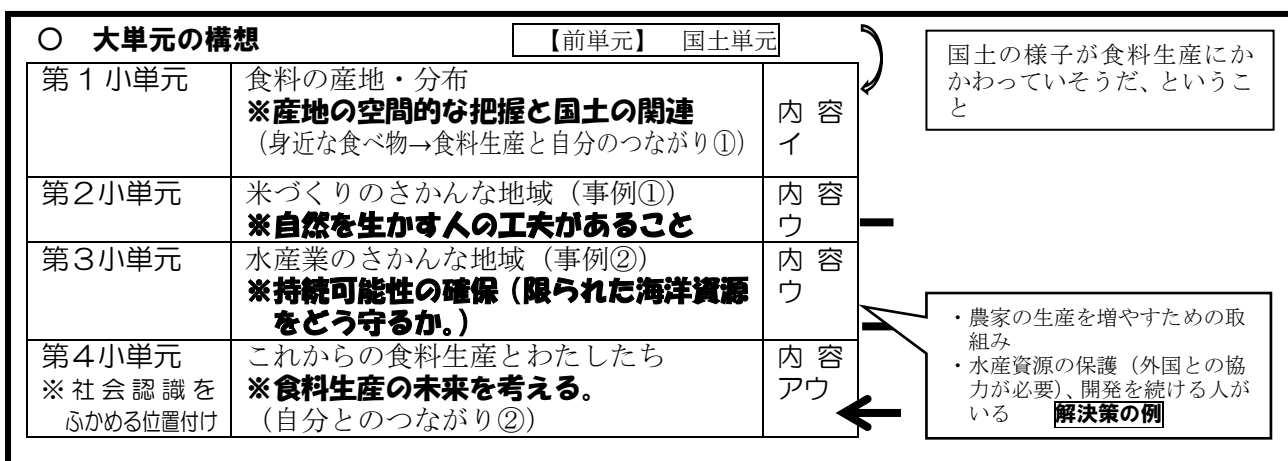
## 小单元名 「これからの食料生産とわたしたち」

### 目標

我が国の食糧生産の現状から学習問題を見出し、統計などの資料を活用して我が国の食糧生産をめぐる問題を読み取ってまとめるとともに、それらをどのように解決するか、自分の考えをもち、適切に表現することができる。また、我が国の食糧生産には、働く人の減少、環境への影響、低自給率などの問題があることを理解し、食料確保のための在り方を考えようすることができる。

### 評価規準

観点	評価規準	学習過程のどこで
社会的事象への関心・意欲・態度【関】	①自分の生活と食料生産とのかかわりをもとに、我が国の食料生産について関心をもち調べている。 ②我が国の食料生産の発展を願って、これからの食料生産について考えようとしている。	つかむ まとめる
社会的な思考・判断・表現【思】	①我が国の食料生産をめぐる問題について、学習問題や学習計画を考えようとしている。 ②我が国の食料生産の取組みや外国との関係などからその意味について考え、表現している。	つかむ まとめる
観察・資料活用の技能【技】	①我が国の食料生産の新たな取組みについて、統計などの資料を活用するなどして必要な情報を集めて読み取っている。 ②調べたことを図や文章にまとめている。	調べる 調べる
社会的事象についての知識・理解【知】	①我が国の食料生産には、様々な問題を抱えながらも取組みをしていることを理解している。	調べる



### 小单元について

本小单元では、水産業で学んだ世界との関係協力の必要性、TPP、食料輸入率問題や輸出入の特徴から日本の現状を把握し問題をつかんでいく。その後、食料生産に携わる人々の未来に向けた取組みを調べていく。今回は、価格と費用（新たな生産スタイル）、高い生産技術と輸出、生産者の協力体制3つに分けて取り上げた。日本の食料生産の現状に目を向け、それぞれの分野の人々が工夫や努力を重ねることで新しい形を作り出そうとしていることをとらえさせたい。その上で、それらは国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや海外の国々と深いかかわりをもって営まれていることを考えるようにする。

指導計画

つかむ	1	<p>これまで学んだことや輸出入の推移から、食料生産は国内的にも外国とのつながりにおいて問題を抱えていることを知り、学習問題を立てる</p> <p><b>学習問題</b> 食料生産にかかわる人々は、いろいろな問題を抱えながら、どのような取組みをしているのだろうか。</p>
	2 (本時)	<p>学習問題に対する予想をし、学習計画を立てる。</p> <p>〈予想〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安い輸入品に負けないように、高くても売れる品質のよいものを生産し、海外にも輸出しようとしているのではないか。 <b>高い生産技術と輸出</b></li> <li>・個人の努力では勝てないので、たくさんの人と協力していると思う。 <b>協力体制</b></li> <li>・生産者がもうけることができるようにしているだろう。 <b>価格と費用</b></li> </ul>
調べる	3	<p>果実や水産物の輸出を調べる事を通して、高い生産技術を生み出していることが分かる。</p> <p>【問1】食料生産にかかわる人々は、よい品物を作るためには、どのような技術開発をしているのだろうか。</p>
	4	<p>法人化や国の政策を調べる事を通して、国レベルで協力体制を作り取り組んでいることが分かる。</p> <p>【問2】食料生産にかかわる人々は、どのように協力しているのだろうか。</p>
	5	<p>6次産業や地産地消を調べる事を通して、生産性を高める事が分かる。</p> <p>【問3】食料生産にかかわる人々は、どのように利益を高めようとしているのか。また、どのように広まっているのだろうか。</p>
まとめる	6	<p>調べたことを、チャート図を活用してまとめ、自分とつなげながら学習問題に対する自分の考えを書く。</p> <p>○Yチャートを活用して食料生産の解決に向けての考えを出し合う。</p> <p>○調べてきた取組みを行っていけば本当に食料生産はこれからも持続するのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者任せではなく、消費者がもっと理解して、目的に応じて賢く日本産のものを買っていけばよいのではないか。</li> </ul> <p>○学習のまとめを行い、学習問題に対する考えを自分とつなげながら書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つながりを意識して賢く選択すること、日本の食料生産や世界の食料事情に関心を持ち続けることが大切だ。</li> </ul>

まとめる段階の第6時では、学習したことを踏まえて、座標軸を使って自分の立場を明らかにした後、話し合いを行った。そして、話し合いが終わった後に意見を書き、自分の立場を座標軸に表した。意見が変わった児童はネームプレートの色を変えるようにした。実践を行った学級ではこのように全体的に肯定的に変化した。

これらの取組をすれば本当に日本の食料生産は大丈夫なのだろうか？



本時の指導（2時間目／6時間）

- (1) ねらい 学習問題に対する予想をして、学習計画を立てる。
- (2) 展開

	○主な学習活動 ・ 予想される児童の反応 (丸数字は資料番号)	教師の指導・支援 (□留意点 ◎教材 ◇評価)
導入	<p>○前時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ TPPが決まると、日本の食料生産は大丈夫だろうか。</li> <li>・ これからの食料生産はどうしたら外国に負けないようなことができるのだろうか。</li> </ul> <p>○学習問題と本時の課題の確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>学習問題</b> 食料生産にかかわる人々は、いろいろな問題を抱えながら、どのような取組みをしているのだろうか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>本時の課題</b> 学習問題の予想を立てて、学習計画を作ろう</p> </div>	<p>□外国との関わりに関して疑問をもっている児童の感想を取り上げる。</p>
展開①	<p>○現在の日本の食料生産について、資料から分かったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外で日本の果物が売られている。①</li> <li>・ 日本の桃が置いてある。①</li> <li>・ 海外で日本の果物が売られている。①</li> <li>・ 他の所を通るよりもの消費者に早く届けられる。②</li> <li>・ 消費者が安く手に入れることができている。②</li> <li>・ 様々な立場の人がいる。③</li> <li>・ 協力してやっている。③</li> </ul>	<p>◎海外で売られている果物の写真①</p> <p>◎直売の流通の図②</p> <p>◎農家同士のイラスト③</p> <p>□これまでの食料生産の学習を想起させるようにする。</p>
展開②	<p>○資料から分かったことをもとに、学習問題に対する予想を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 高くても売れる品質のよいものを生産し、海外にも輸出しようとしているのではないか。（高い生産技術と輸出）</li> <li>② 生産者がもうけることのできるようにしているだろう。（価格と費用）</li> <li>③ 個人の努力だけでなく、たくさんの人と協力していると思う。（協力体制）</li> </ul>	<p>□資料の意味を考えさせながら予想を立てさせるようにする。</p> <p>◎予想の短冊</p> <p>□必要に応じてグループで話し合わせるようにする。</p> <p>□予想を短冊に書かせ、分類する。</p> <p>□それぞれの資料に共通することがある場合も示していく。</p>
まとめ	<p>○学習問題に対する予想から問い（学習計画）を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① よい品物を作るためには、どのような技術開発をしているのだろうか。→高い生産技術と輸出</li> <li>② どのように利益を高めようとしているのか。→価格と費用</li> <li>③ どのように協力しているのだろうか。→協力体制</li> </ul>	<p>□予想の分類をもとに、児童と一緒に問いを確認していく。</p> <p>◇学習問題に対する予想を立て、学習計画を考えようとしている。</p> <p>【思・判・表】①</p>

○第2時が始まる前の児童の認識

- 日本の水産業は輸入に支えられている。      • 世界的に漁獲量が増えている。
- 公海サンマ問題など、日本だけでの問題ではない問題が多く出てきている。
- 日本の農業、漁業には解決すべき問題がある。      • 日本は多くの食品を輸入している。
- 日本は輸入だけでなく、輸出も増えてきている。      • TPP という問題も目前に迫っている。

**学習問題** 食料生産にかかわる人々は、いろいろな問題を抱えながら、どのような取組みをしているのだろうか。

◎資料から分かることをもとに、学習問題の予想を立てましょう。



資料① 海外で売られている果物

### 技術開発と輸出

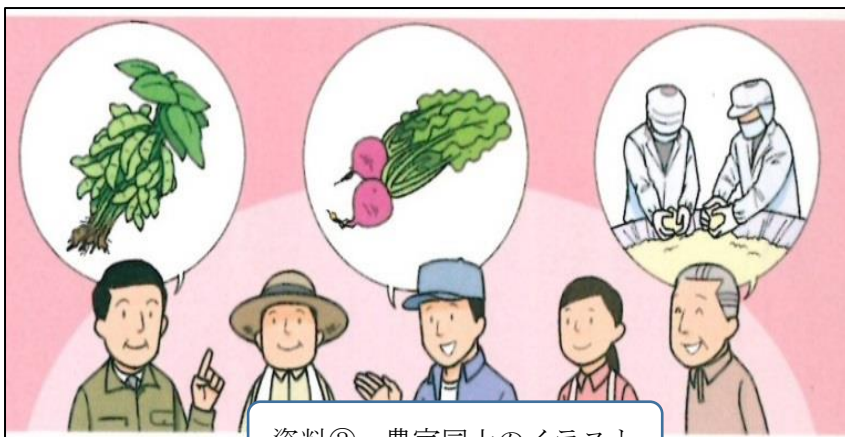
和食の世界遺産登録などもあり、日本の食材の海外での需要が高まっている。ここ10年間の間で、水産物や食品の輸出額は1.5倍になっている。その中でも需要の高いのが高品質の果物である。



資料② 直売の流通の様子

### 第六次産業

六次産業とは、生産、加工、販売の三つの産業を合わせて行うというもの。



資料③ 農家同士のイラスト

### 農業の大規模経営化

食料生産にかかわる人々は、国や地方自治体と協力しながら、国産食品のさらなる国内普及に取り組んでいる。また、国は政策として農業の法人化などの対策を進めている。

予想